



同社が手掛けた IHI フロンティア・イノベーション棟の螺旋パネル。  
設計・製作・施工の一貫体制によるスピーディーな対応と技術力は全国から高評価を得ている

(株) TANI GAWA

充実した機械設備で一貫体制を実現！  
顧客に寄り添い添い既製品から  
オーダーメイドまで対応

中区江並に本社を置く(株)TANI GAWAは、ステンレスや鉄、アルミニウムなどの金属加工から手摺やパネル、装飾金物の設計・製作・施工を一貫体制で行う。複雑な形状でも高精度に作り上げる点が評価され、現在は全国の建物で実績を積み上げているほか、オーダーメイド製品の製作が一般消費者の方から好評を得ている。創業期から現在に至るまで会社のトップとして舵を取り続けている谷川理社長に、苦悩と飛躍への軌跡を聞く。

### 景気の底からの船出

平成20年、リーマンショックによって世界経済は大混乱に陥り、自動車、住宅建材などの需要が落ち込んだことで、日本の金属加工業は多くが土俵際に追い込まれた。岡山市内にあった金属加工の会社にて工場長を務めていた谷川理氏も、倒産により人生の岐路に立たされていた一人だった。長年の夢だった創業に向けて一念発起。同僚の一人を連れて翌年に桑野にて建築向けの金物製作を始めた。資金、設備もほとんどない過酷な状況の中、幸運にも前職から懇意にしていた取引先の配慮で、まずは他の企業では手の出せない納期が短く、利益の少ない仕事を受注することが

できた。持ち前の技術で丁寧に仕事をこなすと、これが徐々に信頼を得て大きな仕事へとつながったことから、藤崎に移転の後に法人化し、(株)谷川工業となった。

その後、建物に取り付けられる手摺やパネルを得意とし、見事、事業を軌道に乗せることに成功した谷川氏、ある時、仕事の過程で板金加工や塗装を外注に出していることにジレンマを感じた。「外注のために納期の遅れや粗悪品の発生が重なり、お客様に納得のいく製品をお届けできない」事態が続いたことから、いずれはすべての工程を内製化することを決断した。

そして、平成23年、工場の拡張に向けて新